

講義シラバス									
科目名	プロフェッショナルへの道Ⅳ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	吉田亜紀 加藤雅子	講師 プロフィール	吉田:本校卒業後、美容師として勤めたのちにヘアセットの道へ。 様々なジャンルのヘアセットをしながら講師として戻り現在に至る。 加藤:札幌大学で英語と中国語を学ぶ。卒業後、中国広東省の大学日本語学科にて専 属講師として勤める。日本へ帰国後、一般企業に務めた後、現在に至る。						
【授業を通じての到達目標】									
目標に向けて業界の基礎知識を学び、身構え、気構え、心構えを身に付け就職内定に繋げる。 社会人の仕組みやマナーを理解し、多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎力、対応力を身に付ける。									
【学習内容】									
就職活動についてのマナーや具体的なビジョンをグループディスカッションを通して考え、行動する。 社会の仕組みや働くという事を仕組みやマナー・業界講和などからイメージし、目的を理解し、自身の目標を組み立てるようにする。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
筆記用具、ノート、授業プリントなど									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/29)	【到達目標】 小テスト3 ・3S振り返り ・学校生活のルールを確認 ・学内サロン案内状作成 ・目標振り返りシート				⑨ (11/24)	【到達目標】 小テスト3 キャリアセンター就職講座 (社会人1年目の心構え・世代の違う人との話し方・社会人生活を楽しむために) ・目標振り返り・就職活動状況確認・席替え			
② (10/6)	【到達目標】 小テスト2 主体性と協調性を身につける① 学園祭準備				⑩ (12/1)	【到達目標】 小テスト3 マナー教育			
③ (10/13)	【到達目標】 小テスト2 主体性と協調性を身につける② 学園祭準備・席替え				⑪ (12/8)	【到達目標】 小テスト3 社会人基礎力① 第4章 社会人基礎力を高める 主体性・働きかけ力・課題発見力・計画力			
④ (10/20)	【到達目標】 小テスト2 主体性と協調性を身につける③ 学園祭準備				⑫ (12/15)	【到達目標】 小テスト3 社会人基礎力② 第4章 社会人基礎力を高める 創造力・発信力・傾聴力			
⑤ (10/27)	【到達目標】 小テスト3 ・学園祭振り返り ・就職状況確認 ・学内サロン準備 ・目標振り返り				⑬ (12/22)	【到達目標】 小テスト3 社会人基礎力③ 状況把握力・柔軟性・規律力・ストレスコントロール力 ・目標振り返り・席替え			
⑥ (11/3)	【到達目標】 小テスト3 社会人として必要な基礎力を再確認し自己の能力を伸ばすアクションプランをたて、実践する① ・個人ワーク ・グループ決め				⑭ (1/19)	【到達目標】 卒業発表準備 ・手紙を書く			
⑦ (11/10)	【到達目標】 小テスト3 社会人として必要な基礎力を再確認し自己の能力を伸ばすアクションプランをたて、実践する ・グループワーク ・プレゼンテーション				⑮ (1/26)	【定期試験】60 定期試験 卒業発表準備			
⑧ (11/17)	【到達目標】 小テスト3 ☆トレンドゼミ				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	アシスタントプログラムⅣ	必修選択の別	必修	開講区分	4S	授業形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	石川紗織 松本奏絵	講師プロフィール	三景スタジオを退社後、フリーランスに転向。 現在は、広告、映像、ブライダルなどのヘアメイクを担当しています。						
【授業を通じての到達目標】									
現場実習、就職に備えて、お客様・クライアントの要望に応えられる技術力、臨機応変な対応ができるようになる。 就職してからの心構えや実習前の準備をできるようにする。									
【学習内容】									
SNSの活用の仕方を考える 現場で必要な技術、社会性を考える									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘア・メイク道具、筆記用具、SNS									
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】					【到達目標】			
① (9/29)	就職に向けてSNSの活用状況を確認する				⑨ (11/24)	ヘアメイクの再現が出来る			
	【到達目標】					【到達目標】			
② (10/6)	SNSの活用を見直し、顧客獲得に活用できるスキルを身につける				⑩ (12/1)	ヘアメイクの再現が出来る			
	【到達目標】					【到達目標】			
③ (10/13)	現場での立ち振る舞いを確認する				⑪ (12/8)	ヘアメイクの再現が出来る			
	【到達目標】					【到達目標】			
④ (10/20)	メイク直しが出来る				⑫ (12/15)	ブライダルのヘアチェンジが出来る			
	【到達目標】					【到達目標】			
⑤ (10/27)	イベントメイクが出来る				⑬ (12/22)	ブライダルのヘアチェンジが出来る			
	【到達目標】					【定期試験】60			
⑥ (11/3)	冠婚葬祭について理解する				⑭ (1/19)	(定期試験) 指定されたヘアセットが出来る			
	【到達目標】					【到達目標】			
⑦ (11/10)	前髪を綺麗にセット出来るようになる				⑮ (1/26)	2年間の振り返りと反省			
	【到達目標】				【成績評価の方法と基準】				
⑧ (11/17)	(中間チェック) 前髪を撮影用にセットする				●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	プロフェッショナルメイクⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	松丸 亜弥美	講師 プロフィール	ヘアメイクサロン経営。テレビ番組・広告・ブライダル・撮影なども行っている。						
【授業を通じての到達目標】									
今までの学んだメイクの基礎を活かし応用し、より質の高い技術力と多様な現場で必要な実践力を身につける									
【学習内容】									
色んな方の肌に触れ、会話をすることでメイクのスキルやコミュニケーション力を身に付ける。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具一式・筆記用具					・事前準備(授業前までに確認)・期日までに課題提出				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① 1組 9/30 2組 9/24	【到達目標】小テスト2点 パール・ラメ・シール・リボンなど小物を使ってクリエイティブなメイクを表現する				⑨ 1組 11/25 2組 11/26	【到達目標】小テスト4点 MV撮影を仮定したメイクを相モデルへ行う(テーマ・・・ポップ)			
② 1組 10/7 2組 10/1	【到達目標】小テスト2点 パール・ラメ・シール・リボンなど小物を使ってクリエイティブなメイクを表現する				⑩ 1組 12/2 2組 12/3	【到達目標】小テスト4点 MV撮影を仮定したメイクを相モデルへ行う(テーマ・・・ビジュアル系)			
③ 1組 10/14 2組 10/8	【到達目標】小テスト2点 コンテストメイクデモンストレーション・セルフでメイク				⑪ 1組 12/9 2組 12/10	【到達目標】小テスト3点 クリスマスを意識したメイクを相モデルへ行う			
④ 1組 10/21 2組 10/15	【到達目標】小テスト2点 コンテストメイクを相モデルへ行う				⑫ 1組 12/16 2組 12/17	【到達目標】小テスト3点 老婆メイク(特殊メイク鶴岡先生とのコラボ授業)			
⑤ 1組 10/28 2組 10/22	【到達目標】小テスト3点 女性から男性へチェンジメイク(特殊メイク鶴岡先生とのコラボ授業)				⑬ 1組 12/23 2組 1/14	【到達目標】小テスト3点 定期試験対策授業			
⑥ 1組 11/4 2組 10/29	【到達目標】小テスト3点 TPOに合わせたメイク こに・誰と・何を着てをカウンセリングしメイクの提案が出来る)				⑭ 1組 1/20 2組 1/21	【到達目標】小テスト3点 定期試験対策授業			
⑦ 1組 11/11 2組 11/5	【到達目標】小テスト3点 TPOに合わせたメイク こに・誰と・何を着てをカウンセリングしメイクの提案が出来る)				⑮ 1組 1/27 2組 1/28	【定期試験】60 定期試験			
⑧ 1組 11/18 2組 11/19	【到達目標】小テスト3点 11/8のヘアメイクサロンの振替で休み				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
名札・必須道具の忘れ物は小テストよりマイナスとする。									

講義シラバス									
科目名	プロフェッショナルヘアⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	岸田知紘	講師 プロフィール	札幌ビューティ・メイク専門学校卒業。美容師免許取得。卒業後、(株)田谷に入社。ヘアセット歴17年。フリーランスのヘアメイク・ヘアセット講師・着付け師として活動の場を広げています。						
【授業を通じての到達目標】									
即戦力となるために学んできた技術と現場に必要な知識をつける 伝統的なものからトレンドまでを意識し多様なヘアスタイルを作り上げる事ができるようになる									
【学習内容】									
基礎から応用への繋がり。TPO を理解する。接客・カウンセリング・施術・サロンワークなどヘアセットを取り巻く、実践的な授業。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
セットウィッグ・クランプ・ホットカーラー・ロールブラシ・ダッカール・ピン類 黒ゴム・ゴムを切るハサミ・ハードスプレー・ドライヤー・水スプレーヘアアイロン・テールコーム									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① 1組 9/24 2組9/29	【到達目標】 【到達目標】ファッションに合わせたヘアスタイルができるようになる ファッションにあったヘアスタイル1 (小テスト2)				⑨ 1組 11/26 2組 11/24	【到達目標】 【到達目標】イメージの湧きにくいテイストの構造を理解する 【カッコイイ】を作る(小テスト3)			
② 1組10/1 2組10/6	【到達目標】 【到達目標】ファッションに合わせたヘアスタイルができるようになる ファッションにあったヘアスタイル2 (小テスト2)				⑩ 1組 12/3 2組 12/1	【到達目標】 【到達目標】イメージの湧きにくい テイストの構造を理解する 【カッコイイ】を考える/相モデル(小テスト6)			
③ 1組10/8 2組 10/13	【到達目標】 【到達目標】ファッションに合わせたヘアスタイルができるようになる サロンワークでオーダーの多いヘアセット1 (小テスト2)				⑪ 1組 12/10 2組 12/8	【到達目標】 日本髪について。デモンストレーション・実技(小テスト3)			
④ 1組 10/15 2組 10/20	【到達目標】 【到達目標】テーマに合わせて ヘアスタイルを作成できるようになる サロンワークでオーダーの多いヘアセット2 (小テスト2)				⑫ 1組 12/17 2組 12/15	【到達目標】 日本髪アレンジ。構成を考える(小テスト3)			
⑤ 1組 10/22 2組 10/27	【到達目標】 1組 10/22 結婚式ヘア 相モデル(小テスト2) 2組 10/27 サロンワークに向けたヘアアレンジ(小テスト3)				⑬ 1組 1/14 2組 12/22	【到達目標】 定期試験 練習 1(小テスト3)			
⑥ 1組 10/29 2組 11/3	【到達目標】 1組10/29 サロンワークに向けたヘアアレンジ (小テスト3) 2組11/3 サロンワークを含めた ヘアメイク(小テスト3)				⑭ 1組 1/21 2組 1/19	【到達目標】 定期試験 練習 2(小テスト3)			
⑦ 1組 11/5 2組 11/10	【到達目標】 1組 11/5 サロンワークを含めたヘアメイク(小テスト3) 2組 11/10 結婚式ヘア 相モデル(小テスト2)				⑮ 1組 1/28 2組 1/26	【定期試験】60 定期試験 60点			
⑧ 1組 2組 11/8(土)	【到達目標】 11/8(土)ヘアメイクサロン (小テスト3) 1組 11/19(水) 振り替えでお休みです。 2組 11/17(月) 振り替えでお休みです。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
名札・必須道具などの忘れ物は、小テストよりマイナスとする。									

講義シラバス									
科目名	ヘアメイク総合技術Ⅱ (ヘアメイク研究)	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	2年生		
講師名	宍戸優 神敦子	講師 プロフィール	メイクアップアトリエは札幌を中心に、CM・広告・TV・撮影現場・ファッションショー・舞台ドラマ・ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の方々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師を務めるなど多岐にわたる活動をしています。 また、世界4大コレクションである【NYコレクション】のJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
ヘアメイクアーティストに必要な知識と技術の向上で現場で必要な実践力を身につける。 シチュエーションに合わせたヘアメイクができるようになる									
【学習内容】									
様々なジャンルのメイクを学び、自由な発想・表現力を身に付け作り上げる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具一式・筆記用具									
日時	授業計画			日時	授業計画				
① 9/25	【到達目標】 小テスト2点 アイドルメイクの特徴を知り、相モデルで練習①			⑨ 11/27	【到達目標】 小テスト2点 メタリックをテーマにメイク構想を練る 相モデルで練習①				
② 10/9	【到達目標】 小テスト2点 アイドルメイクの特徴を知り、相モデルで実技②			⑩ 12/4	【到達目標】 小テスト2点 メタリックをテーマに相モデルでメイク実技②				
③ 10/16	【到達目標】 小テスト2点 音楽をテーマにメイク構想を練る 相モデルで練習①			⑪ 12/11	【到達目標】 小テスト3点 春夏秋冬をテーマにメイク構想を練る 相モデルで練習①				
④ 10/23	【到達目標】 小テスト2点 音楽をテーマに相モデルでメイク実技②			⑫ 12/18	【到達目標】 小テスト3点 春夏秋冬をテーマに相モデルでメイク実技②				
⑤ 10/30	【到達目標】 小テスト2点 立体的なベースメイクメイクとカットクリース 相モデル練習①			⑬ 1/15	【到達目標】 小テスト3点 初心に戻り...お客様(相モデル)の要望に応えるメイク カウンセリングシート作成 メイク実技				
⑥ 11/6	【到達目標】 小テスト2点 立体的なベースメイクメイクとカットクリース 相モデル実技②			⑭ 1/22	【到達目標】 小テスト3点 属性(火・水・風・雷・光)テーマにメイク構想を練る 相モデルでテスト練習①				
⑦ 11/13	【到達目標】 小テスト2点 絵画をテーマにメイク構想を練る 相モデルで練習①			⑮ 1/29	【定期試験】60 属性(火・水・風・雷・光)テーマ相モデルでメイク実技②				
⑧ 11/20	【到達目標】 絵画をテーマに相モデルでメイク実技② ※中間チェック10点			【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
忘れ物や準備不足、相モデルに対して施術のしづらい言動・行動、授業運営を妨げる行為などは、自己管理不十分・迷惑行為とし、小テストの減点対象となります。									

講義シラバス

科目名	ヘアメイク総合技術Ⅱ (クリエイティブヘアスタイル)	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	2年生		
講師名	佐藤 由佳	講師 プロフィール	高校を卒業後すぐに美容室に勤めながら通信にて免許を取得後サロン経験を経てヘア セットサロンにて勤務。独立して15年が経過。						
【授業を通じての到達目標】									
ヘアメイクアーティストに必要な知識と技術の向上で現場で必要な実践力を身につける。 コンテストに向けたクリエイティブなヘアスタイルやブライダル、スチール撮影などで使える技術を身につける。									
【学習内容】									
基礎になる技術を応用して効果的に使えるようになる。 ジャンルを問わないヘアセットをできるようになる。「できる」を増やして卒業する！									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアセット道具一式、筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/25)	【到達目標】小テスト2点 トップの作り方を知る(熱を加えている・加えていない)				⑨ (11/27)	【到達目標】小テスト2点 成人式ヘア①			
② (10/9)	【到達目標】小テスト3点 ボブ・ショートのアップスタイル				⑩ (12/4)	【到達目標】小テスト2点 成人式ヘア②			
③ (10/16)	【到達目標】小テスト3点 ボブ・ショートのダウンスタイル				⑪ (12/11)	【到達目標】小テスト2点 道具・技術の総集編(カーラー・コテ・逆毛)			
④ (10/23)	【到達目標】小テスト3点 海外のトレンドを調べる①				⑫ (12/18)	【到達目標】小テスト2点 定期試験の準備(構成など)			
⑤ (10/30)	【到達目標】小テスト3点 海外のトレンドを調べる②				⑬ (1/15)	【到達目標】小テスト2点 定期試験 練習①			
⑥ (11/6)	【到達目標】小テスト2点 花嫁さんのヘア①				⑭ (1/22)	【到達目標】小テスト2点 定期試験 練習②			
⑦ (11/13)	【到達目標】小テスト2点 花嫁さんのヘア②				⑮ (1/29)	【定期試験】60 後期定期試験			
⑧ (11/20)	【到達目標】小テスト2点 中間チェック				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
忘れ物・授業を受ける態度など、小テストより減点									

講義シラバス								
科目名	ヘアメイク総合技術Ⅱ （スタイリスト演習）	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数 60 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ファッション専攻			学年	2年生	
講師名	國枝知夏	講師 プロフィール	東京でフリースタイリストとして老若男女問わず、タレント、アーティスト、俳優の方々に担当しCM・映画・ドラマ・バラエティ・雑誌・MV・ショーなど様々な現場に20年程携わる					
【授業を通じての到達目標】								
「ファッション」を具体的に理解し実践に繋がる知識のベースを構築する。 業界に必要な知識や技術を身につける。								
【学習内容】								
ファッションプランニングとスタイリスト演習で得た知識を集結させたオリジナルのブランド(服)を作りトータルスタイリングを完成させ納得させられる提案ができるようになる								
【使用教科書・教材・参考図書】				【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
筆記用具・スマホ又はタブレット・ヘアメイカー式・裁縫道具・シン(その他)				講義内で終わらなかった作業については持ち帰り宿題とする				
日時	授業計画			日時	授業計画			
① (9/25)	【到達目標】小テスト2点 シラバスの確認・今後の流れについて 年齢別のスタイリングに気をつけることがわかるようになる			⑨ (11/27)	【到達目標】小テスト3点 オリジナルブランドの企画とブランドをより効果的に表現できるトータルスタイリングをイメージすることができる			
② (10/9)	【到達目標】小テスト3点 年齢に合わせたスタイリングの提案が出来るようになる			⑩ (12/4)	【到達目標】小テスト2点 計画に沿って作業を進めることができる			
③ (10/16)	【到達目標】小テスト4点 年齢に合わせたトータルスタイリングを完成させ発表			⑪ (12/11)	【到達目標】小テスト2点 計画に沿って作業を進めることができる			
④ (10/23)	【到達目標】小テスト3点 実践にいかにせる縫い方が出来るようになる(裾上げ・ボタン付け・用途に合わせた手縫いの方法)			⑫ (12/18)	【到達目標】小テスト2点 計画に沿って作業を進めることができる			
⑤ (10/30)	【到達目標】小テスト3点 ショップリサーチ			⑬ (1/15)	【到達目標】小テスト2点 計画に沿って作業を進めることができる			
⑥ (11/6)	【到達目標】小テスト3点 ショップリサーチ			⑭ (1/22)	【到達目標】小テスト5点 ブランドのイメージに合わせたトータルスタイリング(必要な小物など全てを調達し)をしブランドの世界観を際立てた撮影することができる			
⑦ (11/13)	【到達目標】小テスト3点 テーマに合わせた効果的なスタイリング(前期から身につけた知識を取り入れ)を納得させる材料を揃えた提案ができる			⑮ (1/29)	【定期試験】60 ブランドの発表			
⑧ (11/20)	【到達目標】小テスト3点 テーマに合わせた効果的なスタイリング(前期から身につけた知識を取り入れ)納得させら材料を揃えた提案ができる			【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】								
忘れ物、授業態度も小テストの点数に反映します 各々でもグループでも視野を広げて積極的に取り組む								

講義シラバス									
科目名	ヘアメイク総合技術Ⅱ (ファッションプランニング)	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ファッション専攻			学年	2年生		
講師名	國枝知夏	講師 プロフィール	東京でフリーのスタイリストとして老若男女問わず、タレント、アーティスト、俳優の方々を担当しCM・映画・ドラマ・バラエティ・雑誌・MV・ショーなど様々な現場に携わる						
【授業を通じての到達目標】									
「ファッション」を具体的に理解し実践に繋がる知識のベースを構築する。 業界で即戦力となれるための必要な知識や技術を身につける。									
【学習内容】									
洋服の基本的なことからより実践的なことの知識を増やしリサーチ力、企画力をつけターゲットに向けた提案ができるようになる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
筆記用具・スマホ又はタブレット・ノート・ファイル・裁縫道具・ミシン(その他)					講義内で仕上げることの出来なかった作業は宿題とする				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/25)	【到達目標】小テスト2点 シラバスの確認と今後の流れについて				⑨ (11/27)	【到達目標】小テスト3点 ブランディングとプロモーションを理解してオリジナルのアパレルブランド企画を立てることができる(GPワーク)			
② (10/9)	【到達目標】小テスト3点 服のタグの表記について理解することができる				⑩ (12/4)	【到達目標】小テスト2点 計画に沿って作業を進めることができる			
③ (10/16)	【到達目標】小テスト3点 大きく分類されるアパレルの系統(テイスト)とアイテムの名称を理解することができる				⑪ (12/11)	【到達目標】小テスト2点 計画に沿って作業を進めることができる			
④ (10/23)	【到達目標】小テスト3点 アパレル業界におけるトレンドの作られ方について理解できる				⑫ (12/18)	【到達目標】小テスト2点 計画に沿って作業を進めることができる			
⑤ (10/30)	【到達目標】小テスト3点 ショップリサーチ				⑬ (1/15)	【到達目標】小テスト2点 計画に沿って作業を進めることができる			
⑥ (11/6)	【到達目標】小テスト3点 ショップリサーチ				⑭ (1/22)	【到達目標】小テスト5点 ブランドのイメージに合わせた撮影し発表に向けた準備ができる			
⑦ (11/13)	【到達目標】小テスト4点 リサーチしてきた内容をレポートとしてまとめ発表することができる				⑮ (1/29)	【定期試験】60 オリジナルブランドの発表			
⑧ (11/20)	【到達目標】小テスト3点 ブランドを立ち上げるステップについて理解することができる				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修にあたっての心構え・留意点】									
忘れ物、授業態度は小テストの点数に反映します。									

講義シラバス

科目名	ブライダルコーディネートⅡ	必修 選択の別	選択	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	川崎みゆき	講師 プロフィール	ウェディングコーディネーターとして、長年勤めてきた教員が、ブライダルの基礎などを 実務から得た経験を交えて講義、新郎新婦を接客する際の心構えと一般的で基本的な 結婚式の実習を実施する						
【授業を通じての到達目標】									
ブライダルに関する質の高い知識を多方面から学び、技術力の向上と理解を深める。									
【学習内容】									
ブライダルに関する幅広い分野の知識を座学や実践、体験を通して学ぶ。接客する際の心構えやチームで一つのものを作り上げる実習を通して、ブ ライダルへの理解を深める。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
日時	授業計画			日時	授業計画				
① (9/26)	【到達目標】 模擬披露宴について説明。チームで作業する際の心構えを学ぶ。ブレインストーミング について学ぶ。自分の意見を発言したり、他の人の意見を聞き、方向性をまとめること が出来る。			⑨ (11/28)	【到達目標】 ※制作、準備※ 計画に沿って、役割ごとに作業する。				
② (10/3)	【到達目標】 前期で学習した一般的な人前式、パーティの進行を振り返る。過去の模擬挙式の様子 などを見る。施工の役割説明。模擬披露宴において、どのような役割があるのか、どの ような作業をするのかを知る。			⑩ (12/5)	【到達目標】 ※制作、準備※ 計画に沿って、役割ごとに作業する。				
③ (10/10)	【到達目標】 模擬披露宴のテーマのプレスト。役割希望提出。			⑪ (12/12)	【到達目標】 ※制作、準備※ 計画に沿って、役割ごとに作業する。				
④ (10/17)	【到達目標】 模擬披露宴テーマ、プレゼンテーション。概要決定。全体スケジュールが作成。各役割 決定。			⑫ (12/19)	【到達目標】 リハーサル				
⑤ (10/24)	【到達目標】 役割分担。決められた役割の仕事を理解し、必要な準備を把握する。各役割でスケ ジュールを作成し、取り掛かることが出来る。チームとして取り組むことを明確に出来 る。			⑬ (1/16)	【到達目標】 リハーサル				
⑥ (10/31)	【到達目標】 確認作業。先週決定したことを確認し、補足が必要な部分を明確にする。不安な部 分、確認したい部分を明確にすることでより具体的な作業に進むことが出来る。			⑭ (1/23)	【到達目標】 模擬披露宴				
⑦ (11/7)	※制作、準備※ 計画に沿って、役割ごとに作業する。			⑮ (1/30)	【定期試験】60 模擬披露宴 レポート				
⑧ (11/21)	【到達目標】 ※制作、準備※ 計画に沿って、役割ごとに作業する。			【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	ヘアショークリエイト	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	箱石結衣 森夏子	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
ステージに合うクリエイティブな技術を学び、チームでヘアメイク・ファッションをトータルで表現できる実践力を身につける チームで1つの作品を作り上げ、チームワークを学び作品をよりよく見せるための演出ができるようになる									
【学習内容】									
ヘアショーに必要な技術や知識を学ぶ									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/30)	【到達目標】 小テスト2点 シラバス説明、デモンストレーション ショーについての知識を広げることができるようになる。				⑨ (11/25)	【到達目標】 小テスト3点 ヘアショーについて話し合い、準備・練習をすすめる。			
② (10/7)	【到達目標】 小テスト2点 ショーに映えるヘアメイクができるようになる				⑩ (12/2)	【到達目標】 小テスト5点 ヘアショーについて話し合い、準備・練習をすすめる。 中間チェック			
③ (10/14)	【到達目標】 小テスト2点 ショーに映えるヘアメイクができるようになる				⑪ (12/9)	【到達目標】 小テスト3点 ヘアショーについて話し合い、準備・練習をすすめる。			
④ (10/21)	【到達目標】 小テスト2点 ショーに映えるヘアメイクができるようになる				⑫ (12/16)	【到達目標】 小テスト3点 本番同様にリハーサルをすることができる			
⑤ (10/28)	【到達目標】 小テスト3点 ヘアショーについて話し合いをすすめる。(テーマ・役割・構成など)				⑬ (12/23)	【到達目標】 小テスト3点 本番同様にリハーサルをすることができる ★國枝先生			
⑥ (11/4)	【到達目標】 小テスト3点 ヘアショーについて話し合い、準備をすすめる。 ★國枝先生				⑭ (1/20)	【到達目標】 小テスト3点 本番同様にリハーサルをすることができる ★國枝先生			
⑦ (11/11)	【到達目標】 小テスト3点 ヘアショーについて話し合い、準備・練習をすすめる。				⑮ (/)	【定期試験】60 本番、定期試験 ★國枝先生			
⑧ (11/18)	【到達目標】 小テスト3点 ヘアショーについて話し合い、準備・練習をすすめる。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									